

沖縄タイムス記事
8月27日

接触避け予約を管理

OMM公共施設向け開発

沖縄ツーリストグループのOTS MICCE MANAGEMENT(OMM、玉城国博社長)はこのほど、自治体の体育館や陸上競技場などの公共施設向け予約管理システム「SPMクラウドシステム」を開発した。システム上で予約、確認、支払いなどが



公共施設向けの予約管理システムをPRするOTS MICCE MANAGEMENTの玉城国博社長(24日、沖縄タイムス社)

できる。新型コロナウイルス感染症防止のために対面接触を避けられるほか、これまで紙台帳などで管理していた業務負担の軽減も期待できる。

OMMはセイカスポーツセンター(鹿兒島市)などパートナー企業と2018年から開発。すでに鹿兒島県内の体育館やコンベンションホールのほか、県内では空手会館、うるま市の14の体育施設で導入されている。コロナ対応で対面非接触を促進するためシステムを改修し、キャッシュレス対応が可能になった。

施設に合わせたカスタマイズが可能で、定価240万円

(税別)。姉妹システムとして、トレーニング室など予約のいらない施設のチェックイン管理システム「パススル」(税別・120万円)も併わせてPRする。

同社は、IT導入補助金を無料で申請代行し、保守料を無料にするキャンペーンを実施中。問い合わせは同社、電話098(864)2580。

コロナ禍に対応 経営戦略を助言

タナベ経営セミナー

経営コンサルタント業のタナベ経営(若松孝彦社長)は11月26日、那覇市の沖縄ハーバービューホテルで経営戦略セミナーを開く。新型コロナウイルス感染症拡大に伴い社会

募る

初オンライン開催 ■ 参加

初のオンライン開催となった国内最大級の食の商談会「沖縄大交易会2020」で、参加料

琉球新報記事
8月25日

5/25
琉球新報
(5) 経済 2020年(令和2年) 8月25日 火曜日

体育館、スマホで予約

OMM公共施設管理システム開発

沖縄ツーリストのグループ会社「OTS MICCE MANAGEMENT(OMM)」は、同社で開発した公共施設向け予約管理システム「SPMクラウドシステム」を自治体向けに販売している。体育館などの施設をスマホで簡単に予約できるほか、施設管理者の業務軽減も期待できる。今後はキャッシュレスにも対応する予定。



予約管理システムをPRする、OTS MICCE MANAGEMENTの玉城国博社長(24日、那覇市泉崎の琉球新報社)

同社によると、全国の公共施設のうち予約管理などがシステム化されているのは1割にとどまり、紙で管理するケースが多い。クラウド化することで利用者は

非対面で予約ができ、新型コロナウイルス感染症防止対策にもつながる。OMMの玉城国博社長は「ストレスなく予約ができ、安心安全に公共施設を運営できる」と話した。問い合わせは同社098(864)2580。

宮崎空港線除く 在来17線区赤字

JR九州

JR九州は24日、1日1日平均の平均通過人数が2千人未満だった在来線は災害の影響を除いて2019年度に18線区あり、宮崎空港線(田吉-宮崎空港間)を除く17線区の営業損益が赤字だったと発表した。宮崎空港線は1千万円の黒字で、前年度の600万円の赤字から転換した。同社が線区別の営業損益を幅広く公表したのは18年度で初めて2回目。